

正面には階段のステップ越しにテラスと庭。床のチーク、天井のレッドシダーによって自然と室内へ、さらに外へと導かれる



# 08

## 外と内がつながる 贅のある住まい

ディテールホーム / 坂井建設株式会社

# 08

## DETAIL HOME

三条市 S邸 | 木造軸組工法 | 工期150日 | フリープラン

L字型に配置された大きな窓、  
 テラスを包む深い軒、  
 外部からの視線を遮る目隠しウォール。  
 それらが互いにバランスよく調和し、  
 開放感と安心感の両立が実現されている。

S家は男の子2人の4人家族。お子さんが大きくなるにつれ、「家族一人一人のプライバシーを確保しつつ、子どもたちが思いきり外で遊べるように」と二軒家に踏み切ったという。土地は住宅街の分譲地に、既に購入していた。家づくりに向けて動き始めた2年ほど前、手始めに夫が行ったのは住宅展示場。しかし「家というのはイメージを自分たちなりにつかもうと思ったんですが、どのモデルハウスも豪華すぎてピンとこなかったんです」とSさんは振り返る。一方で、住宅雑誌を通して資料請求をしていたビルダー数社の完成見学会にも足を伸ばした。「いいなと思ったのがディテールホームの家でした」。初めて見たのは、長岡にあった当時のモデルハウスだったが、ここ以上に二人の心を捉えたのは期間限定で公開されていた三条の家。「落ち着いた雰囲気がありながら開放感もあって、「これだ」と思いました。もともと、明るくナチュラルな軽やかさより、シックな色や素材使いを求めている二人にとって、グレージュのタイルを配し、黒いアイアンの階段などで引き締めたその家は、「びたりとはまった」のだ。さらなる後押しは、要望を幅広く受け入れてくれるような対応、そしてコストバランスが優れていることだった。「会って話しているうちに、ディテールホームと一緒の家をつくってほしいと思えたんです」。そして間取りが決まるまで20数回。吟味に吟味を重ねた家づくりが始まった。



1800mmの深い軒はコンクリートのテラスの上に大きく張り出し、テラスの屋根としても機能。天井に張ったレッドシダーが、室内と屋外を大きくつなげている



コンクリートの壁の向こうには、平屋のような贅のある佇まい。この外観は、平屋部分の高さをできるだけ抑え、天井のレッドシダーで外と内をつなげつつ軒を長く伸ばすことによって実現されている。「実は、軒のあるシャープな外観という点以外は『どうしても』という要望はなかったんです。打ち合わせをする中で、こちらの求めるイメージを引き出してもらった感じです」とSさんは話す。ただし間取りについては「家事のしやすい動線」や「1階にクローゼットを」というリクエストをあらかじめ伝えていた。明確な要望と、まだ形の定まらない理想、「二つがうまく融け合う着地点を求めて、プランは何度も練り直された。

玄関を開けると、正面には天然石を貼った壁。天井のレッドシダーはLDKへと続き、そのまま軒下まで伸びている。キッチンカウンターの脇にはグレーのタイル。プラウンとグレーの落ち着いた色調を、階段のアイアンや窓枠、ソファやスツールのブラックがきりりと引き締めているのが印象的だ。間取りについては、水回りを近くにまとめて家事動線を短くした上で、帰宅したらその足で手を洗い、着替えられるように洗面台やクローゼット

を回遊動線の上に置いた。さらに洗面脱衣室には、物干しや収納棚を設け、洗濯の一連の動作もスムーズにコンパクトに完了できるようにした。

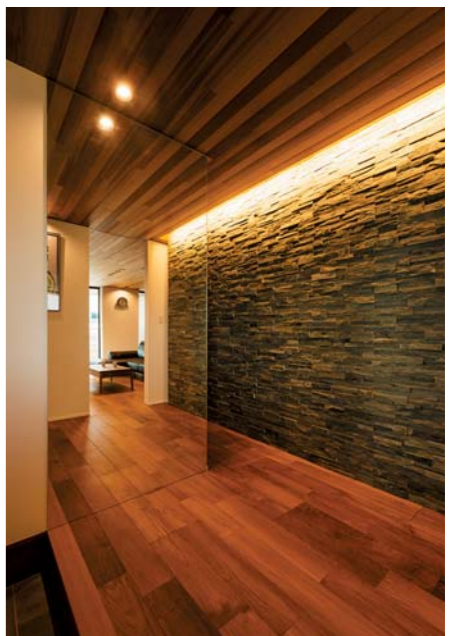
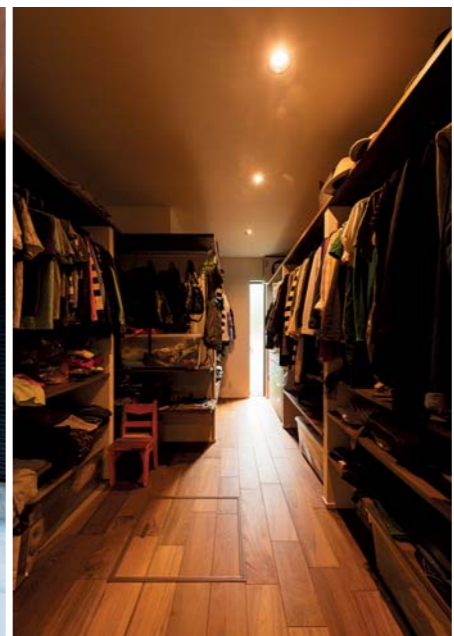
「動線やデザインといった『見える』要望に対して、構造や性能といった『見えない』機能も合わせて提案するのが当社の家づくり」とデザイナーホームの担当者は言う。たとえばS邸のポイントである深い軒は、耐雪に配慮された構造の組み合わせにより1800mmという軒の奥行きと軒先のシャープな形状が実現されている。さらに天井までの高い掃き出し窓、標準仕様としているハイドアなどによって、開放感を叶えながらも、耐震等級2の強靱さに。さらにこの広がり、外との大きなつながりを木造で実現することで、予算内に収めるというコストバランスも踏まえられている。

「とことん付き合ってもらって、こちらの要望も引き出ししてもらえたので、思い残したことがまったくありません。自分たちで決めた家に住んでいるんだと、日々実感しています」とSさんは言う。満足は、家づくりの過程にどれだけ関われるかにもかかっていることを、この家は教えてくれる。

高さを抑えつつ  
横への広がり大きな開放感を実現

無垢の木の自然なブラウンとグレーのトーンでまとめたLDK。天井ぎりぎりまでのガラス窓によって開放感は抜群ながら、庭の塀によって外からの視線が気にならないように計算されている





上左 / LDKからまっすぐに伸びるスケルトン階段の上には窓を設け、階下にも光が届くように配慮 上右 / LDKは高さを抑え、床と天井の木の向きを揃えることで、横への広がりを感じられる  
 下左 / ダイニングの壁の裏には洗面台スペース。壁にはグレーのタイルを貼ってまるでホテルのような雰囲気 下右 / ダイニングキッチンの背面、格子の向こうにはスタディスペース

上 / LDK部分が平屋になったS邸の外観。ガレージも一体化したデザインに 下左 / 玄関前とテラスは深い軒でつながっている 下中 / 家族全員の洋服を収納している大きなクローゼットは1階に。回遊動線の上に置くことで、帰宅後の着替えや朝の身支度がスムーズに 下右 / 玄関ホールには、天井までの鏡を設置することでさらに広がりを感じられる。鏡の右手を通ってぐりとダイニングキッチンに回れる間取り

## ディテールホーム ／坂井建設株式会社

〒955-0092 三条市須頃1-24  
 Tel 0256-46-0610 Fax 0256-46-0611  
 フリーダイヤル 0120-466-799

詳しい企業情報は「ビルダーズスクエア」をご覧ください。



資料請求をして頂いた方先着30名様にクオ・カード500円分をプレゼント。※詳細は277ページをご覧ください。スマートフォンからも資料請求できます。

### DATA

敷地面積 / 490.50㎡ (148.37坪)	内装材 / クロス、タイル、天然石
延床面積 / 226.06㎡ (68.38坪)	床材 / ミャンマー産チーク
1階面積 / 160.78㎡ (48.63坪)	開口部 / LIXIL
2階面積 / 65.28㎡ (19.75坪)	キッチン / TOYO KITCHEN
工法 / 木造軸組工法	バスルーム / LIXIL
基礎 / ベタ基礎	その他 / 造作家具
断熱材 / 硬質ウレタンフォーム	竣工年月 / 2018年3月
屋根材 / ガルバリウム鋼板	家族構成 / 夫婦+子ども2人
外装材 / 窯業系サイディング、レッドシダー	